

2月6日 文教のまち 「西原町教育の日」

毎年2月の第1土曜日を「西原町教育の日」と定め、教育に対する町民の意識と関心の高揚を図り、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、町民全体で教育に関する取り組みを推進し、教育の充実、発展に資することを目的とし、授業参観や講演会、児童生徒・教職員の表彰等を行っています。

しかしながら、今年度は、多くの新型コロナウイルス新規感染者の報告により、緊急事態宣言が発令されたため、感染拡大防止を目的に、「西原町教育の日」に係るすべての行事等を中止することを決定いたしました。

なお、下記の児童生徒の善行賞・活動賞及び教職員の教育実践賞表彰につきましては、各学校において伝達表彰が行われました。

令和2年度受賞者一覧

教育実践賞

- | | |
|---|---|
| 坂田小学校
根間 義仁 教諭
城間 晶子 教諭
佐藤 礼子 教諭 | 西原中学校
森岡 稔 教諭
仲本 善史 教諭
宮里 佐津紀 教諭 |
| 西原小学校
佐伯 千賀子 教諭
照屋 雄孝 事務主幹 | 西原東中学校
伊波 優志 教諭
喜久里 成子 教諭 |
| 西原東小学校
與儀 直樹 教諭
島袋 孝治 教諭 | |
| 西原南小学校
真喜屋 恵子 教諭 | |

善行青少年(個人)

- | | | |
|--|---|---|
| 坂田小学校
屋宜 柑太
澤岷 侑里采
島根 佑真
梶田 倫生 | 宮城 宏稀
與那嶺 月
安里 優太郎
新垣 美緒
西原小学校
平田 希光
久高 沙奈
平 陽葵
兼城 賢王 | 西原東中学校
田中 煌洋
外間 凜
金城 穂伽
伊敷 春花
迎里 桜由姫 |
| 西原南小学校
根間 椿
野村 優羽
與那城 れあ
照屋 和花 | 西原東小学校
仲地 亜梨紗 | 西原町子ども会育成
連絡協議会
島袋 ここね
勝連 結衣
和田 一騎
金城 來斗 |

善行青少年(団体)

- 坂田小学校 児童会
青少年成功労者(個人)
西原中学校 榮 孝美
坂田小学校 比嘉 憲秀
青少年成功労者(団体)
西原中学校 おやじの会

文化活動優良者(団体)

- 西原中学校
読み聞かせサークル
かけはし
西原中学校 合唱部
西原高等学校
西原高等学校
マーチングバンド部

文化活動優良者(個人)

- 西原中学校
平良 彩
仲宗根 琉孔
レイフィールド 快
名嘉 春香
西原東中学校
新川 真子
坂田小学校
仲村渠 愛

スポーツ優良者(団体)

- 西原中学校
西原中学校女子バレーボール部
西原高等学校
西原高等学校女子バレーボール部
西原高等学校女子バスケットボール部
西原高等学校男子バレーボール部

スポーツ優良者(個人)

- | | | | |
|-----------------|---------------------------|--------------------------|--|
| 西原東小学校
與儀 朱花 | 西原中学校
手登根 煌青
小波津 友愛 | 西原東中学校
崎山 翔生
宮里 勇希 | 西原高等学校
高江洲 祭
安田 風
仲本 茜理
宮里 知念
小渡 柚奈
下地 凜
新川 蓮 |
|-----------------|---------------------------|--------------------------|--|

秀)の進言によって、旧宅跡地に神

経った一六六六年頃、第十代国王尚

質王の時代に、国相、向象賢(羽地朝

秀)の進言によって、旧宅跡地に神

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指

定。

二〇一七(平成二九年) 国の史跡に指



尚円王の足跡をたどって

尚円王即位550年記念

殿(東殿)の整備が始まり、琉球王国の国家的聖地となります。この内閣殿整備の詳しい経緯は令和二年九月号の「広報にしはら」で説明していますので、ぜひ読み返してみてください。

このように、尚円王は亡くなった後も、重厚なお墓が造営され、王になる前の住居についても、琉球王国の聖域として整備されていきました。後世の人にとって、偉大な存在であったと思われまます。二〇二〇(令和二年)は尚円王が即位して五五〇年の節目の年でした。皆さんも身近な内閣殿から尚円王の足跡をたどってみませんか。

お問い合わせ
文化課文化財係 944-4998



内閣御殿

まちの話題 Topics in the Town



イベント
フォトギャラリー

1月27日
(水)

子どもの貧困解消を目指して ラインスタンプ販売中!



沖縄明治乳業(株)(村田紳(むらたしん)社長)が町役場を訪れ、同社が行う子どもの貧困対策事業への協力を呼びかけました。同社は「沖縄の子も達をはっぴいに!」を合言葉に、無料通信アプリ「LINE」で同社の乳酸菌飲料「明治メイプル」の Mascot キャラクターがモチーフのオリジナルスタンプを販売し、すべての収益金を沖縄タイムス社「沖縄こども未来プロジェクト」、琉球新報社「リゅうちゃん子どもの希望基金」に寄付しています。スタンプは40種セットで税込120円となっております。2セット発売されています。

LINEスタンプ「はっぴい島のゆかいな仲間たち」で検索!

2月 3日
(水)

西原東小学校・幼稚園40周年記念



西原東小学校・幼稚園が今年で40周年を迎えたことを記念して、記念品贈呈式が開催され6年生が参加しました。式では、同校PTAより、ベーカーリーーすとのマフィンやパティスリークプルのお菓子詰め合わせと、同校児童会が思い出の場所をデザインした図書カードなど640個ずつの贈呈が行われました。大城めぐみPTA会長は、「新型コロナウイルス感染症の影響で、40周年記念をできるか悩みましたが、できることを考え、先生や児童会、いつも児童を見守ってくれているお店の方々と協力して今回の贈呈を行うことができました」と笑顔を見せました。宮城卓司(みやぎたくじ)校長は、「学校の伝統を作るのは、校舎ではなくみなさんです。中頭地区のお手本となるような本校の素晴らしい伝統を、在校生につないでください」と激励しました。

県教育委員会 令和2年度優秀教職員表彰



令和2年度の優秀教職員として、県教育委員会より本町に勤務する2名の教諭が表彰されました。下地昌代(しもじまさよ)先生(西原東小)は、生活科の研究を深め、その実践が教師用指導書、地域実践事例集において紹介され、県内の多くの先生方の授業実践の模範となることが認められました。また、横山美香(よこやまみか)先生(西原中)は、これまで不登校生徒の社会的自立支援や教育相談担当として、関係機関と連携し、学校課題である不登校問題解決に多大な貢献をしたことが認められました。

1月13日
(水)

地域のお店を盛り上げよう! 中学生が作ったオリジナル包装紙



西原中学校3年生の美術の授業で、西原町のお店を盛り上げようと、生徒がグループで協力し手書きで包装紙をデザインしました。西原印刷と協力が刷り上がった包装紙を雑貨屋ココカラに納品した古謝友唯(こじやゆい)さんは、「着色するときに、画用紙に色むらぎができたけど、いい味になっています」と笑顔を見せました。雑貨屋ココカラのオーナー屋宜茜(やぎあかね)さん(写真右)は「とてもいい取組で、お店のイメージを取り入れてデザインしているのがすばらしいです」と絶賛していました。包装紙はお店で商品を購入した際に、プレゼントのラッピングなどに使われます。

1月15日
(金)

西原中でオーケストラ生演奏



合唱コンクールなどの学校行事が中止になる中、生徒が音楽に触れる機会を確保しようと、文化庁の「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」を活用したザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団のオーケストラ公演が西原中学校3年生を対象に行われ、「威風堂々」などが演奏されました。また、代表生徒3名が指揮に初挑戦し、めったにない体験に大盛り上がりでした。あいさつをした手登根煌青(てんこうせい)さんは、「オーケストラの生演奏は動画と違い、とても迫力があって感動しました。今日の公演で一番好きな曲は、音楽の授業で習ったラデツキー行進曲です。みんなの手拍りで会場が一体になる感じがよかったです」と笑顔を見せました。

1月18日
(木)

坂田小「夢プロジェクト」で将来を考える



職業人である保護者から実際にその仕事の内容を聞き体験することで、将来を考えるきっかけにしようとして、6年生対象のキャリア教育として、薬剤師、訪問看護師、消防士、建築士の保護者による講話が行われました。消防士の講話では、火災の怖さや訓練の様子を動画で学んだ後、実際に防火服を着用して人を運ぶ体験をしたり、建築士の講話では、家の建築方法を学んだあと、家の模型づくりを体験していました。古堅啓太郎(ふるけんけいたろう)さんは「防火服がとっても重かった。こんなに重いものを背負って人を助けるのはすごい」とびっくりしていました。

※広報紙に掲載する写真については、撮影時のみマスクを外しております。